

# 令和2年度(2020年度) 公益財団法人千里リサイクルプラザ事業報告書

地球温暖化防止等を含む環境への負荷を少なくする循環型社会の構築に向け、人々が環境に配慮したライフスタイルを実践し、また環境保全を定着・促進するため、市民の参加のもとに次の事業を計画しました。しかしながら本年度を通して新型コロナウイルス禍の状況は依然収束を見せず、行政(吹田市)の指示に基づき、くるくるプラザは令和2年4月7日(火)から5月31日(日)及び令和3年1月14日(木)から2月28日(日)まで休館しましたが、開館時は感染拡大防止の3密回避対策の徹底に努め、以下の通り事業を実施しました。

## 1. 公益目的事業として、次の事業を実施しました。(公1)

### (1) 啓発・普及活動に関する事業

#### ア. 市民工房の運営(受託事業)

各工房において、来館者が楽しみながらリユース・リサイクルできるように、修理・再生・リフォームの助言・指導を行い、各工房で再生した成果品を展示しました。開館時は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消毒はもとより施設内で密集が予想される市民工房には飛沫防止用透明スクリーンの設置によるソーシャルディスタンスの確保等、3密回避対策を徹底し実施しました。

工 房 名	対象品	見学者数	実技指導者数 (再掲)	成果品展示数
市民工房1	衣類	1,375名	1,282名	168点
市民工房2	紙パック	560名	521名	12点
市民工房4	自転車	248名	174名	100点
市民工房6	家具類	939名	709名	108点
合 計		3,122名	2,686名	388点
合 計 (前年度)		4,474名	3,860名	345点

(注)市民工房3ではガラス工芸、市民工房5では陶芸の実践教室を開催しました。

#### イ. 視察・見学者の応対(受託事業)

開館時は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回の見学人数の制限や中央操作室の入室見合わせ等、3密回避に努め実施しました。

区 分	団 体 数	人 数	前 年 度	
			団 体 数	人 数
小～大学生	9団体	920名	58団体	5,049名
市民団体	3団体	22名	22団体	565名
行 政	0団体	0名	1団体	9名
民間企業	0団体	0名	2団体	38名
海 外	0団体	0名	34団体	1,073名
計	12団体	942名	117団体	6,734名

#### ウ. 見学ツアーの開催(受託事業)

環境啓発として環境学習施設を見学する親子見学ツアーは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度の実施を見送りました。(前年度の参加者数は39名)

エ. 吹田市が主催等するイベントへの参画(受託事業)

昨年度プラザが参画した吹田市の主催、後援事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は中止されました。(前年度の参画数は13回)

オ. 脱温暖化啓発に関する事業(受託事業)

① 原始力発電コーナー

自力で自転車を漕ぎ、イルミネーションを点灯させたり電車の模型を走らせる自家発電体験を提供する原始力発電コーナー及び温暖化防止に関連したエコ人間すごろくは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は撤去しました。

② 環境啓発動画コンテスト

実施日	内 容	対象者	応募人数及び作品数	
			本年度	前年度
応募期間 8月1日(土)～ 10月31日(土)	地球温暖化防止、食品ロス、 海洋汚染をテーマとする動画 を募集し、HP上での人気投票 と専門家及び市民研究員、財 団執行役員による審査を実施	市民	応募作品数 34作品	応募人数 23名
投票期間 11月20日(金)～ 12月19日(土)				応募作品数 23作品
表彰 3月14日(日)	くるくるプラザ講義室1にてリ モートによる表彰式を実施		優秀賞 3作品 奨励賞 2作品	優秀賞 1名 学校奨励賞 1校

カ. 展示等に関する事業(受託・自主事業)

① 展示コーナーの常設(受託事業)

市民工房で再生した成果品や市民研究所の環境出前講座などで使用する教材の一部をホワイエに常設展示しました。またB棟5階展示室において「すいたのごみ80年史展」を開催しました。更に10月1日(木)より11月29日(日)までは南面由子(なんめんよしこ)氏が新聞紙で制作した、全長17メートルの龍や躍動感あふれる動物の「しんぶんシアニマルアート展」をB棟5階展示室及び生活学習室で開催し好評を博しました。

② あげます・もらいますコーナーの利用状況(受託事業)

休館時及び再開準備のための休止や設営期間を除き活動を行いました。特に通常のあげます・もらいますコーナーの活動に加え、コーナーが閉室となるイベント開催日(10月18日(日)、11月15日(日)、12月13日(日))にも、登録なしで参加できるもらいます体験を実施しました。

品 目	持ち込み品	持ち帰り品	
衣 類	6,429点	6,500点	
食 器	5,823点	3,498点	
合 計	12,252点	9,998点	
件 数	430件	1,267件	
前 年 度	数 量	17,733点	12,069点
	件 数	696件	1,615件

③ 再生成果品等の販売(自主事業)

新型コロナウイルス禍によるショッピングエリア閉鎖時を除き、セカンド品の販売を行いました。再生成果品についてはショッピングエリアでの通常販売に加え、ショッピングエリア閉鎖時でも休館時以外は事務室で販売を行いました。再生家具はおよそ2ヶ月の申込期間を設けた抽選販売とし、HP上に写真や動画を掲載し広く募集を行い令和2年7月31日(金)と令和3年3月16日(火)の2回実施しました。また再生自転車は休館時を除き毎月1回の抽選販売を実施しました。

工房名	対象品	成果品販売数
市民工房1	衣類	121点
市民工房2	紙パック	1点
市民工房4	自転車	90点
市民工房6	家具類	144点
合 計		356点
合 計 (前年度)		281点

販売時期	販売品目	内容
常時	衣類のリフォーム品 紙すき製品 木工小物	市民工房において再生した成果品を販売
毎月	自転車	毎月1回の抽選販売
7月 3月	家具	家具は抽選販売。売れ残った家具は随時販売

対象品	販売数	前年度
セカンド品 (未使用の市民提供品)	1,355点	863点

常時	セカンド品	市民から提供を受けた未使用の衣類・食器を販売。

らっくdeフリマ(レンタルフリマ) 出店期間	来室者数	出店数	出店形式	出店内容
第1期 R2. 4～R2. 5	-	-	4段ラック 3段ラック 2段ラック ハンガーラック	市民の方に場所を提供し、使わなくなったものなどリメイク・リユース品を中心に展示し、低額で販売
第2期 R2. 6～R2. 7	-	-		
第3期 R2. 7～R2. 9	1,477名	49店舗		
第4期 R2.11～R2.12	1,169名	51店舗		
第5期 R3. 2～R3. 3	-	-		
合 計	2,646名	100店舗		
合 計 (前年度)	7,223名	362店舗		

(注1) 第1期(R2. 4～R2. 5)はプラザ休館に伴い出店中止となり、続くR2.6は募集を見合わせました。

(注2) コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった第2期の出店予定者に、販売機会損失の補填として7月10日から3ヶ月間(R2.7～R2. 9)に亘る第3期出店を実施しました。

(注3) 第5期(R3. 2～R3. 3)はプラザ休館に伴い出店中止としました。

キ. 市民・企業参画事業(受託・自主事業)

① 万博ごみゼロウォーク(受託事業)

市民、事業者、行政、市民研究員、プラザが協働して万博記念公園及びその周辺をウォーキングしながら散在ごみを回収・調査する万博ごみゼロウォークは、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

実施日	参加者		回収したごみ(分類別収集量)			
	団体数	人数	缶	びん	ペットボトル	燃焼ごみ
(当初予定日) 11月 7日(土)	-	-	-	-	-	-
前年度	32団体	404名	129個	34本	215本	83kg

② くるくるアースフェスタ(受託事業)

地球温暖化防止等、環境問題を広く市民に啓発する取り組みであるくるくるアースフェスタは、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

実施日	場所	内容	来場者数	前年度 来場者数
(当初予定日) 2月21日(日)	ららぽーと エキスポシティ 1階光の広場	-	-	約3,500名
合 計			-	約3,500名

ク. 実践教室の開催(自主事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年4月から7月まで及び令和3年1月中旬から2月までは教室閉室を余儀なくされましたが、その他の期間については市民が楽しみながら資源の再使用や再生利用を体験できるように以下の実践教室を実施しました。

	教 室 名	1教室当 開催日数	実施回数	受講者数	延受講者数	前 年 度			
						実施回数	受講者数	延受講者数	
(注1)	布	布のリメイク1日	1日	3回	18名	18名	4回	36名	36名
		布こもの	1日	1回	1名	1名	3回	6名	6名
(注2)	ガラス 工芸	バーナーワーク初心者	1日	74回	34名	34名	135回	68名	68名
		バーナーワーク自由3回	3日		10名	30名		16名	48名
		フュージングアクセサリー	1日		43名	43名		45名	45名
		フュージングオブジェ	1日	42回	12名	12名	74回	36名	36名
		サンドブラスト	1日		16名	16名		17名	17名
		3Dペイント	1日		1名	1名		6名	6名
	陶芸	陶芸3回	3日	6回	10名	30名	3回	1名	3名
		陶芸2回	2日	6回	1名	2名	3回	0名	0名
		夏休み陶芸2回	2日	2回	18名	36名			
		夏休み陶芸絵付	1日				2回	13名	13名
	木工	木工1日	1日	2回	10名	10名	3回	20名	20名
		夏休みこども木工	1日	4回	44名	44名	4回	92名	92名
	手作りお もちや	オイル万華鏡	1日	2回	20名	20名	2回	32名	32名
	イ ア シ ル ト ク レ イ ト	シルバー3回	3日	6回	6名	18名	2回	5名	15名
		シルバー初心者	1日	6回	3名	3名	2回	8名	8名
	クレ ラ ザ ー フ ト	革小物	1日	6回	7名	7名	4回	10名	10名

(注3)	裂き織	コースター	1日				3回	4名	4名
	その他	ミニソーラーカー工作	1日	1回	78名	78名			
		ダンボール工作	1日	1回	18名	18名			
(注4)	くるくる体験	布体験	1日	6回	57名	57名	7回	39名	39名
		陶芸体験(絵付け)	1日	6回	138名	138名	7回	61名	61名
		ガラス工芸体験	1日	6回	171名	171名	7回	84名	84名
		木工体験	1日	6回	80名	80名	7回	28名	28名
		レーザークラフト体験	1日				5回	13名	13名
合計				186回	796名	867名	277回	640名	684名

(注1) 正式な教室名称は「布のリメイク」となります。

(注2) ガラス工芸は同日の排他的選択実施のため、実施回数は1つにまとめて表記しています。

(注3) ミニソーラーカー工作受講者数には保護者を含みます。

(注4) 令和2年度よりくるくる体験は実践教室に位置付けました。

#### ケ. イベントの開催(自主事業)

##### ① フェスタ

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、不特定多数の参加者によるフリーマーケットの開催等での3密回避が困難な状況を考慮して、本年度のフェスタは全て開催中止としました。

事業名	実施日	内 容	参加者数(注)	前年度参加者数
くるくるお花見フェスタ	(当初予定日) 4月5日(日)	フリーマーケット、影絵、SDGs落語、お花見縁日コーナー、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験その他を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しました。	-	約700名
くるくるエコキッズフェスタ	(当初予定日) 5月10日(日)	キッズフリーマーケット、かえっこバザール、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験その他を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しました。 尚、前年度3月に開催予定だった家具のオークション中止に伴い、6月2日(火)より直接あるいはインターネットでの申し込みが可能な家具の抽選販売受付を開始しました。	-	約1,300名
千里エコフェスタ	(当初予定日) 6月21日(日)	フリーマーケット、ライブステージ、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験その他を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しました。 尚、同日開催を予定していた環境問題講演会も開催を中止しました。	-	(吹田市千里山拳銃強奪事件のため中止)
くるくる夏フェスタ	(当初予定日) 8月16日(日)	フリーマーケット、器楽演奏(三線とギター)、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験その他を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しました。 尚、パナソニックLED親子あかり工作教室(LED家ライト工作)を特別プログラムとして単独で実施しました。	200名	約700名

くるくる 秋フェスタ	(当初予定日) 9月20日(日)	フリーマーケット、クラシック音楽演奏会(高槻フィルハーモニーオーケストラ)、影絵、ソーラーカー乗車体験その他を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しました。 尚、パナソニックLED親子あかり工作教室(あかりのエコ講義及びLED家ライト工作)を特別プログラムとして単独で実施しました。	166名	約1,000名
くるくる ハロウィン	(当初予定日) 10月18日(日)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密回避が難しいイベントの開催は中止し、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院によるくるくるワークショップとして開催しました。 尚、子どもを対象とするハロウィンのお菓子のすくい取りは使用するお玉杓子の消毒の徹底に努めて実施しました。	158名	約1,100名
くるコレ フェスタ	(当初予定日) 11月15日(日)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密回避が難しいイベントの開催は中止し、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院によるくるくるワークショップとして開催しました。 尚、くるくるコレクションについては3密回避に注意を払い、単独で実施しました。	184名	約700名
くるくる クリスマス	(当初予定日) 12月13日(日)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密回避が難しいイベントの開催は中止し、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)とLED家ライト工作、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院によるくるくるワークショップとして開催しました。	222名	約1,300名
くるくる 春フェスタ	(当初予定日) 3月14日(日)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密回避が難しいイベントの開催は中止し、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院によるくるくるワークショップとして開催しました。	141名	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止)
合 計			1,071名	約6,800名

(注) 本年度の参加者数は当日の来館者実数を記載。

## ② おもちゃ病院

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から6月まで及び1月、2月はおもちゃ病院は閉院しましたが、開院時は市民の持ち込んだ壊れたおもちゃを、おもちゃドクターが即日又は入院修理し、リユースの啓発活動を行いました。

実施日		修理件数	前年度修理件数
第1回	(当初予定日) 4月5日(日)	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	5件
第2回	(当初予定日) 5月10日(日)	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	11件
第3回	(当初予定日) 6月21日(日)	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	(吹田市千里山拳銃強奪事件のため中止)
第4回	7月19日(日)	31件	7件
第5回	8月16日(日)	22件	11件
第6回	9月20日(日)	7件	19件
第7回	10月18日(日)	8件	13件
第8回	11月15日(日)	4件	14件
第9回	12月13日(日)	12件	24件
第10回	(当初予定日) 1月17日(日)	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	3件
第11回	(当初予定日) 2月21日(日)	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	13件
第12回	3月14日(日)	7件	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
合計		91件	120件

コ. リユース食器貸出に関する事業(自主事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度はリユース食器貸出を中止しました。

	件数	食器類	箸等	前年度		
				件数	食器類	箸等
吹田市内	0件	0点	0点	16件	3,930点	1,600点
吹田市外	0件	0点	0点	53件	55,900点	20,153点
合計	0件	0点	0点	69件	59,830点	21,753点

サ. 会員(プラザメイト)に関する事業(自主事業)

ごみ問題や地球温暖化などの環境問題をより多くの人々に理解してもらい、つながりを広げてゆくため会員(プラザメイト)を募集しました。会員には、財団が発行する情報紙や、各種催しの案内を送付しました。

(2) 調査研究・情報提供に関する事業

ア. 研究報告書の発行に関する事業(受託事業)

令和元年度の市民研究所各プロジェクトの研究成果等を研究報告書としてまとめ、9月に発行しました。

イ. 市民研究員による調査・研究及び実践活動(自主事業)

市民研究員がテーマごとにプロジェクトチームを組織し、生活者の視点で調査・研究を行うとともに、啓発・普及のための実践活動を行うことを計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は著しく活動を制限されました。

プロジェクト名	活 動 内 容	開催数
エコ体験	小学生及び一般市民への環境問題の啓発方法の研究を行う。 ～新しい教材開発として「プラスチックごみの話」 本年度は新型コロナウイルス禍により環境学習支援活動は実施できなかった。来年度に向けた検討事項として、提供プログラムを紙すきとエコゲームにしぼること及びリモートの活用による新たな支援方法の研究を始めた。	14回
手作りおもちゃと環境	廃品を再利用した手作りおもちゃの指導を通して、ごみの減量化と環境問題の啓発・意識の向上を図る。 本年度は環境出前講座として「プラザで遊ぼう」を2回、またくるくるワークショップ開催時に紙パックを使った手作りおもちゃの指導を8回実施した。来年度に向けてはクラブ指導がなくなることからリモートの活用による新たな指導方法の研究を始めた。	24回
市民とお店をエコでつなぐ	「食品ロス削減」は社会の大きな問題でもあるので引き続き研究し、新しいテーマとして「プラスチックごみ」(食品トレー)を取り上げる。 本年度は環境出前講座として「プラザで遊ぼう」を2回実施し、また食品ロスすごろくの改訂を行うとともに、動画の作成について具体的内容や方法について検討した。環境政策室へのヒアリングを通じて「プラスチックごみの削減」、「食品ロスの削減」に関する行政の取り組みや考え方の理解を深めた。	21回
「吹田ごみ物語」改訂版編集	平成7年発行の「吹田ごみ物語」改訂版を作成し発行する。 本年度までの活動の成果をまとめるにあたり、冊子の内容やページ数等の検討を行った。また来年度以降の活動の新たなテーマについての議論を開始した。	23回
身近な環境を調べよう	吹田市及びその周辺地区の河川や池の環境を調べ、特にごみを少なくしていくための啓発活動を行う。 2月22日(月)の糸田川沿いのフィールドワークを含め本年度中、4回の調査を実施した。来年度以降の活動のために本年度のデータをまとめ、地域の環境団体や自治会との連携を模索した。	20回
SDGs啓発プログラム作成	SDGs啓発のためのプログラムを作成する。 1月7日(木)に吹田東高校で2年生320名を対象としたSDGsの講演会を実施した。その際に行ったアンケート調査の分析により、来年度以降の中・高校生向け授業の組立ての検討を進めた。	23回
エコイベント(休止)	— 研究報告書掲載の令和元年度活動のまとめ作成のための打合せ後は活動を停止した。	2回
合 計		127回
合 計 ( 前 年 度 )		364回
くるくるつながり広場	新規PTの「SDGs啓発プログラム作成PT」、「身近な環境をしらべようPT」の発表、報告及び「吹田ごみ物語改訂版編集PT」の成果発表を実施した。	3回



市民研究員の各プロジェクトによる、地域と市民を結ぶ、くるくるフォーラムを開催しました。

実施日	実施内容及び開催場所	参加者数	前年度
3月6日(土)	各PTによる研究実践報告と講評及び意見交流。	27名	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

#### ウ. 機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行(自主事業)

市民研究員の調査・研究、実践活動を中心とした機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行及びホームページへの掲載については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年5月号、9月号は制作編集作業が出来ず、7月号(299号)及び11月号(300号)以降の隔月発行により、本年度は合計4回発行しました。

号数	No.	発行部数	配布先
2020年7月号	299号	各850部	市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。
2020年11月号	300号		
2021年1月号	301号		
2021年3月号	302号		

#### エ. 情報紙「くるくるプラザ」の発行(自主事業)

一般市民で構成したスタッフが情報収集し編集した、環境問題に関する身近で役立つ情報を中心とした情報紙「くるくるプラザ」を次のとおり発行し、ホームページにも掲載しました。尚、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度の初号を予定していた7月は制作編集作業が出来ず発行を見送りました。

号数	発行月	発行部数	配布先
87号	11月	各1,500部	市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。
88号	3月		

#### オ. 図書・雑誌等の閲覧コーナーの常設・貸し出し及びホームページの公開(自主事業)

図書・雑誌などの閲覧コーナーについては、新型コロナウイルス禍による休館時を除き、開館時に貸し出しを行いました。また財団ホームページの公開を行いました。

### (3) 講演・講座の開催及び環境学習の支援に関する事業

#### ア. 講演会の開催(受託事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度の講演会は実施を見送りました。(前年度は環境問題講演会及び吹田環境セミナーを実施し、合計参加者数は70名)

#### イ. 入門講座・研修講座の開催(受託・自主事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は期間を短縮し9月に開校したくるくる環境スクールは6回の連続講座として実施し、市民研究員研修講座は1回開催しました。またくるくるキッズ環境スクール(受託事業)は開催を中止しました。

## (自主事業)

事業名	実施日	内 容	対象者	参加者数	会 場
くるくる環境スクール	9月12日(土)	開講式、施設見学	受講生他	11名	プラザ講義室2
	9月26日(土)	木工体験	受講生他	10名	プラザ講義室2
	10月3日(土)	市民研究員研修講座に参加	受講生他	12名	プラザ講義室2
	10月24日(土)	吹田市立西山田小学校校ビオトープと黒川地区の炭焼き見学と里山散策	受講生他	10名	川西市黒川地区
	3月6日(土)	くるくるフォーラム参加を通じPT活動を知る	受講生他	27名	プラザ講義室2
	3月13日(土)	市民研究員との交流会 閉校式	受講生他	20名	プラザ講義室2
計		6回		90名	(9回 173名)
市民研究員研修講座	10月3日(土)	テーマ「吹田市からプラスチック問題、温暖化問題を考える」	市民研究員	28名	プラザ講義室2
計		1回		28名	(3回 50名)
合 計		7回		118名	(12回 223名)

(注) 令和元年度のくるくる環境スクールは4月～9月に実施。

( )内は前年度

## ウ. 環境出前講座の実施(自主事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民研究員による環境出前講座は「くるくるプラザで遊ぼう」という催しとして、プラザ施設内で実施しました。また小中学校の授業・クラブ活動、環境学習等を対象とし、市民研究員が出向く実践講座の実施、支援は本年度は要請がなく実施しませんでした。

実 施 日	内 容	対象者	参加者数	会 場
10月25日(日)	「くるくるプラザで遊ぼう」 紙パックを使ったおもちゃ作り (びっくり箱)	小学生	4名	プラザ講義室2
10月25日(日)	「くるくるプラザで遊ぼう」 ふろしきの活用	小学生	5名	プラザ講義室2
11月28日(土)	「くるくるプラザで遊ぼう」 紙パックを使ったおもちゃ作り (万華鏡)	小学生	2名	プラザ講義室2
11月28日(土)	「くるくるプラザで遊ぼう」 ふろしきの活用	小学生	4名	プラザ講義室2

1月7日(木)	「SDGsを知ろう」 SDGs活動と環境啓発動画について	高校生	320名	吹田東高校 (体育館)
合 計	5 回		335名	(111回 約30,650名)

(注) 前年度には授業・クラブ活動の支援(99回 2,250名)を含みます。

( )内は前年度

#### エ. 環境学習発表会及び展示発表会の開催(自主事業)

教室からの発信「広がれ！環境の輪」と題して、小中学校等で取り組まれている環境学習の成果を発表、交流しあう発表会と展示発表会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。(発表会の前年度実績は参加4校2団体2個人で158名/展示発表会の前年度実績は出展小学校15校で展示点数59点)

#### オ. 職場体験・大学関係等の支援(自主事業)

吹田市立中学校・インターンシップ学生の受入れは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は中止しました。(インターンシップの前年度実績は大学2校5名/職場体験学習の前年度実績は吹田市立中学校6校20名)

### 2. 収益事業等として、次の事業を実施しました。(収1)

吹田市との基本協定に基づく受託事業のうち、吹田市資源リサイクルセンターに関する管理運営業務を、次のとおり実施しました。

#### (1) 施設の管理運営

##### ア. 貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務(受託事業)

貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務を行いました。使用件数、使用者数及び使用料の徴収額は下記のとおりでした。

開館日数	使用件数	使用者数	使用料徴収額	前年度			
				開館日数	使用件数	使用者数	使用料徴収額
212日	512件	8,281名	272,350円	287日	486件	13,365名	184,450円

##### イ. 建物部分及び貸与備品等の管理業務(受託事業)

指定された建物部分及び貸与備品等の管理業務を行いました。

### 附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補則する重要な事項」がないので作成しません。